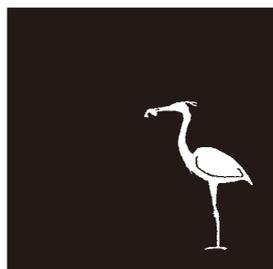


浦幌町立博物館

年報



Historical Museum of Urahoro

2022 (令和4) 年度事業報告
(2022.4.1~2023.3.31)

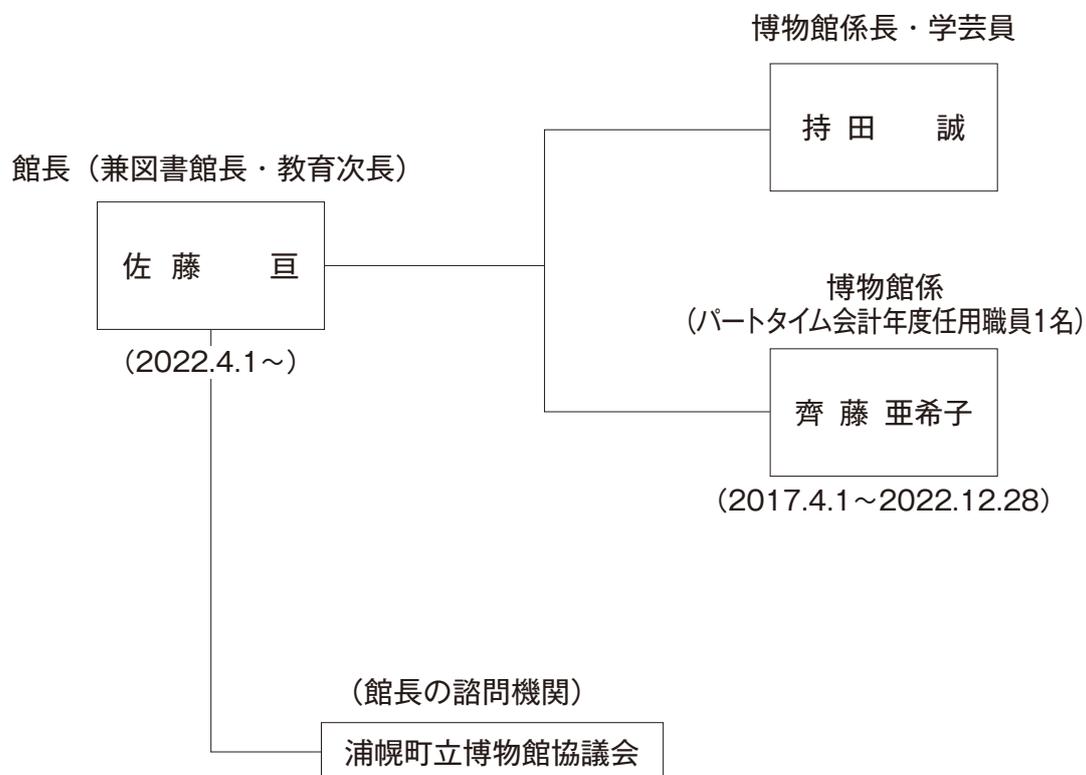
I. 博物館運営方針

令和4年度浦幌町立博物館運営方針

浦幌町の多様な歴史、自然、文化に関する資料と情報を幅広く収集・保全し、地域の財産として将来へ引き継ぎ、多方面で活用していくために、浦幌町立博物館は次のような活動を展開します。

1. 博物館法にもとづく登録博物館とすることで、浦幌町立博物館の果たす役割を明確化するとともに、社会教育法や博物館法にもとづく基本的な博物館機能の再点検や再構築をはかっていきます。
2. ホームページや博物館資料データベースを活用した、博物館情報のデジタル化やインターネット対応を進めます。
3. 浦幌を中心とする東十勝や白糠丘陵一帯の歴史、文化、自然史の研究拠点、情報発信拠点として、国内外の各種機関との連携や協力を推進します。
4. 収蔵資料の整理・登録作業、調査研究活動など、博物館活動の土台となる作業を重視した事業遂行に努めます。
5. 図書館との複合施設である当館のメリットを活かし、事業やレファレンス、地域資料の収集や、収蔵資料の有効活用、情報発信など、共同で推進できる体制の構築をはかります。
6. 停滞している東山防災倉庫の収蔵資料の搬出や吉野収蔵庫における資料整理活動を進めます。
7. 町内のさまざまな学術資源を、新規に文化財等として指定するとともに、それらの保全と活用をはかる取り組みを進めます。
8. アイヌ振興法の考え方にもとづき、ラポロアイヌネイションやアイヌ民族文化財団と連携して、アイヌ民族の歴史や文化を発信する活動に取り組みます。
9. 「国際博物館の日」や「文化財保護強調月間」「近代化遺産の日」などを軸に、全国の博物館や文化機関と連携した、多様な博物館事業を展開していきます。
10. 次世代へつなぐ博物館のあり方について議論し、課題を整理して将来に備えます。

II. 博物館の組織



令和4年4月1日現在

職名	氏名	住所	備考
会長	円子 紳一	北栄町2区	
副会長	西森 七枝	新 町	
委員	濱田 和光	住吉町1区	浦幌中学校長
〃	鈴木 洋孝	緑 町	浦幌小学校長
〃	春日 基江	北町2区	
〃	坂下 禮子	光 南	
〃	長谷川 みなみ	厚 内	
〃	香川 みどり	上 浦幌	

(任期 令和5年12月18日まで)

III. 資料の受け入れ

博物館資料の新規受入件数 (2023年3月31日時点) 【2019年より暦年で表示】 (件)

内 訳	2016(平成28)	2017(平成29)	2018(平成30)	2019(令和元)	2020(令和2)	2021(令和3)	2022(令和4)
寄 贈	453	466	531	728	588	630	384
採 集	234	357	272	194	346	120	186
図書資料	315	312	291	445	370	468	430
合 計	1,002	1,135	1,094	1,367	1,304	1,218	1,000

IV. 資料の提供

収蔵資料の利用状況 (2023年3月31日時点) 【年度】 (件)

	2017(平成29)	2018(平成30)	2019(令和元)	2020(令和2)	2021(令和3)	2022(令和4)
特別利用(館外貸し出し)	4	1	5	5	8	2
特別利用(来館調査)	5	5	11	9	8	3
出 版 利 用	3	3	5	2	6	5
合 計	12	9	21	16	22	10

* 博物館活動、博物館紀要における調査研究利用・出版利用、一般報道使用をのぞく

V. 出版・広報活動

- 『浦幌町立博物館年報』第22号発行 (2021年11月30日)
- 『浦幌町立博物館紀要』第22号発行 (2022年3月31日)
 - ・ 論文、資料紹介4編を掲載
 - ・ 第16号より国際逐次刊行物番号 (ISSN) を付与 (ISSN 2189-4787)
 - ・ 年報と共に全国の主な大学、博物館、図書館へ発送。
- 『浦幌町立博物館だより』発行 (毎月1日発行)
 - ・ 町内および十勝・釧路管内の主な博物館、図書館等で配付。PDF版をホームページにて公開。
- 『広報うらほろ』に「博物館の窓」「アシーラ・レーラ」を連載
- 日本福音ルーテル帯広教会記念誌編集委員会(編) 『信仰の灯は永遠に：日本福音ルーテル池田教会と吉田康登牧師の足跡』〔浦幌町立博物館企画展図録〕発行 (2021年4月4日)

VI. レファレンス業務

レファレンス対応状況 (2023年3月31日時点) 【年度】 (件)

	2017(平成29)	2018(平成30)	2019(令和元)	2020(令和2)	2021(令和3)	2022(令和4)
来館・町内呼出によるもの	35	55	62	75	59	42
通信および他部局より転送	62	112	78	129	56	76
合 計	97	167	140	204	115	118

Ⅶ. 出前授業・研修派遣等

出前授業・研修派遣等 (2024年2月16日時点) 【年度】

(件)

	2017(平成29)	2018(平成30)	2019(令和元)	2020(令和2)	2021(令和3)	2022(令和4)
学 童 保 育 所	—	—	—	—	—	6
こ ど も 園	—	—	—	—	—	0
町 内 小 学 校	—	—	—	—	—	4
町 内 中 学 校	—	—	—	—	—	2
町 内 教 職 員 研 修	—	—	—	—	—	1
町 内 団 体 ・ 企 業 等	—	—	—	—	—	2
町 外 学 校 関 係 (大 学 以 外)	—	—	—	—	—	1
町 外 そ の 他	—	—	—	—	—	3
合 計	未分析	未分析	未分析	未分析	未分析	19

Ⅷ. 博物館ボランティア

博物館活動の一環として、博物館ボランティアによる活動がある。博物館ボランティアの業務は、①資料整理等の補助業務 ②新聞資料等の整理 ③博物館図書の登録と整理 ④簡易な展示解説 ⑤調査研究活動の補助 ⑥その他館長が適当と認めた業務等が想定されるが、本館では①～③業務を主に行い、他に古文書解読も行われている。現在の登録者は10名であるが、日常的に活動している者は6名である。

なお、古文書解読の成果は、「浦幌町立博物館紀要」第21号に掲載し第22号では休載した。

IX. 博物館の利用状況

(1) 博物館入館者の推移

(令和5年3月31日現在)

	2009(平成21)年度		2010(平成22)年度		2011(平成23)年度		2012(平成24)年度		2013(平成25)年度		2014(平成26)年度		2015(平成27)年度	
月	開館日数	入館者数												
小計	299	7,990	302	8,471	307	10,012	309	9,648	305	10,403	305	10,045	305	11,161
累計	3,076	95,893	3,378	104,364	3,685	114,376	3,994	124,024	4,299	134,427	4,604	144,472	4,909	155,633
	2016(平成28)年度		2017(平成29)年度		2018(平成30)年度		2020(令和元)年度		2020(令和2)年度		2021(令和3)年度		2022(令和4)年度	
月	開館日数	入館者数												
4	26	927	26	603	27	663	26	777	17	419	25	367	25	293
5	25	979	26	806	27	1,045	27	915	14	41	15	226	24	461
6	26	661	26	670	26	671	26	696	25	185	8	101	21	245
7	27	897	26	882	26	1,261	26	1,024	27	332	27	417	26	320
8	25	1,853	28	1,352	28	1,340	27	919	26	342	25	381	24	404
9	25	903	26	783	25	872	25	783	26	294	0	0	25	296
10	26	472	26	813	27	1,119	26	1,129	26	331	26	345	25	311
11	24	807	25	510	26	692	26	657	23	296	22	298	23	203
12	26	693	26	929	26	595	25	747	26	255	26	315	24	137
1	22	639	23	454	23	799	22	748	22	182	21	243	23	249
2	24	900	24	893	24	957	24	629	21	227	22	160	23	117
3	27	587	26	708	26	1,248	12	634	26	389	26	300	26	227
小計	303	10,318	308	9,403	311	11,262	292	9,658	279	3,293	243	3,153	289	3,263
累計	5,212	165,951	5,520	175,354	5,831	186,616	6,123	196,274	6,402	199,567	6,645	202,720	6,934	205,983

緊急事態宣言発令に伴う臨時休館 (2021年度は5/19～6/20および8/30～9/29)

(2) 団体入館者 (事前申込みしくは当日解説対応を実施した団体・個人 / 3月31日現在)

4月 5日 浦幌学童保育所	37名	10月 18日 帯広要約筆記サークルたんぼぼ	12名
4月 9日 十勝うらほろ楽舎	12名	10月 23日 帯広市西小地区生涯学習推進委員会	49名
5月 12日 北海道中小企業家同友会	5名	11月 15日 帯広市生涯学習愛国小地区委員会高齢者部会(愛国長寿会)	16名
6月 15日 認定こども園(ぼんだ組)	21名	12月 21日 十勝東部社会教育主事会	5名
6月 16日 浦幌小学校2学年	29名	1月 13日 浦幌学童保育所	27名
6月 21日 認定こども園(ぼんび組)	14名	1月 25日 十勝うらほろ楽舎	12名
7月 17日 ひがし大雪自然館	15名	2月 22日 上浦幌中央小学校	4名
7月 20日 帯広身体障がい者協会婦人部	23名	3月 16日 浦幌高校1期生	10名
8月 11日 千葉大学	6名	3月 17日 兵庫教育大学	4名
8月 26日 音更町高齢者大学	18名	3月 22日 認定こども園	28名
9月 14日 浦幌小学校第2学年	16名	3月 24日 認定こども園	28名
9月 27日 うらほろボランティアいちげの会(炭鉱見学)		合計	24件 397名
9月 27日 幕別町民生児童委員西南部会	6名		

(令和5年3月31日現在)

2022（令和4）年度 博物館教育普及事業報告

分類	領域	No.	事業名	事業概要	期日	来場者または参加者数	備考
展示	企画展	1	トピック展「コロナな時代を語り継ぐために2022」	新型コロナウイルスで変化した暮らしの記録。	3月1日～5月8日	未計数	
		2	アイヌ伝統文化作品展	ラポロアイヌネイション主催のアイヌ刺繍教室の受講生が製作作品を展示。	4月13日～5月8日	138名 (記帳者のみ)	ラポロアイヌネイション共催
		3	かし和家の歴史展	創業94年の歴史を終え、若手の後継者により新たな歴史を歩みはじめる浦幌駅前のソバ屋かし和家に関する資料の展示。	5月21日～7月18日	220名 (記帳者のみ)	
		4	アイヌ民族の現在「ラポロアイヌネイション」展	ラポロアイヌネイションを通じて、アイヌ民族のいまを伝える。	7月30日～9月25日	292名 (記帳者のみ)	ラポロアイヌネイション・北海道立北方民族博物館共催
		5	北海道の災害と文学展	北海道で起きた主な災害と、それらを舞台に描かれた文学作品について解説するパネル展。北海道立文学館パネル展を巡回展示で開催するもの。	7月30日～8月14日	105名 (記帳者のみ)	北海道立文学館・浦幌町立図書館共催
		6	北村薫氏写真展	音別の写真家、北村薫氏の写真展。	10月12日～11月5日	107名 (記帳者のみ)	
		7	帯広百年記念館移動展「アイヌ文化パネル展」	帯広百年記念館の収蔵する資料や作品の移動展覧会。	11月9日～11月27日	60名 (記帳者のみ)	帯広百年記念館運営連絡協議会主催
		8	巡回展「学ぼう北方領土とかち巡回パネル展」	北方領土の歴史、日ロ交流事業の歴史など、北方領土問題を基礎から知るためのパネル展。	11月27日～12月9日	12名 (記帳者のみ)	千島歯舞居住者連盟十勝支部主催
		9	厚内の博物学者「和歌山満」展	中学校の理科教員にして、天体観測、貝類研究など、地域の自然史調査を永年続けてきた和歌山満氏の資料や標本を展示。	12月10日～1月15日	124名 (記帳者のみ)	
		10	トピック展「クリスマスの文化」	日本ではなじみの薄いクリスマスの文化について、旧日本福音ルーテル池田教会の資料を中心に展示。	12月10日～12月28日	未計数	
		11	トピック展「お正月の文化」	お正月にみられる飾り物や料理などについて紹介。	1月7日～1月29日	未計数	
		12	全国孔版画年賀状展	十勝孔版画の会による毎年恒例の孔版画年賀状作品展です。	1月26日～2月7日	48名 (記帳者のみ)	浦幌孔版画サークル主催・浦幌町文化協会後援
		13	ぼくの、わたしの、書き初め展	書道教室「もみじ子会」に通う子供たちの書き初め作品を展示。	2月11日～23日	122名 (記帳者のみ)	共催：もみじ子会
		14	ひな人形展	収蔵資料のひな人形を公開。	2023/3/1～3月19日	未計数	
		15	北の縄文展in浦幌	釧路市と網走市で開催された「北の縄文展」から浦幌と関係の深い遺跡のパネルを選んで紹介するとともに、日頃は収蔵庫に保存されている各遺跡の資料を一部公開する。	2月18日～3月26日	未計数	主催：北海道/共催：浦幌町立博物館
		16	岡田愛啓写真展「原生花園の花」	岡田愛啓氏が撮影した豊北原生花園に咲く植物たちの写真展。	2023/3/25～4・23	183名	
教育普及	夜学講座	17	「フラワーソン2022」に参加しよう	6月に開催されるフラワーソンの説明会。	4月20日	13名	講師：持田誠学芸員
		18	国際博物館の日記念講座「博物館の力」	70年ぶりの博物館法改正と、30年ぶりに登録博物館となった浦幌町立博物館という機会に、博物館法にもとづく当館の活動内容をみなおす。	5月18日	16名	講師：持田誠学芸員
		19	かし和家の歴史	浦幌駅前のそば屋かし和家の系譜を紹介。	6月1日	12名	講師：持田誠学芸員
		20	実は自然の少ない十勝・浦幌から、生物多様性を考えよう	生物多様性保全国家戦略や生物多様性基本法をもとに、十勝や浦幌の自然環境がいまどのような状況かを解説する。	10月13日	8名	講師：持田誠学芸員
	博物館講座 (含うらほろスタイル ゼミナール)	21	図書館記念日講座「なぜ本の仕事をしているんだろう。-十勝の活動事例から-」	図書館法制定を記念した図書館記念日に、書店や図書館など本に関する仕事を手がける長谷川氏から、本のいまについて解説。	4月30日	40名	講師：長谷川彩氏
		22	企画展関連講座「なぜ博物館はかし和家を調べるのか-風俗史の視点から-」	かし和家の資料を集め研究することで何が明らかになるのか？風俗史の視点から紹介する。	7月2日	21名	講師：持田誠学芸員
		23	文学館出前講座「災害と文学」	文学は災害をどのように描いてきたのか。道立文学館の資料から解説。	8月6日	9名	講師：苔名直子学芸員（北海道立北方民族博物館）
		24	企画展解説「アイヌ民族の現在：ラポロアイヌネイション」	昨年に網走市の北海道立文学館で開催された企画展「アイヌ民族の現在：ラポロアイヌネイション」展を通じて、アイヌのひとびとの「いま」を伝える。	8月20日	中止	講師：野口泰弥氏（北海道立北方民族博物館学芸員）

IX. 博物館の利用状況

分類	領域	No.	事業名	事業概要	期 日	来場者または参加者数	備 考
教育普及	博物館講座 (含うらほろスタイル ゼミナール)	25	博物館講座「アイヌの権利問題に取り組む弁護士として」	先住権の問題を中心に、アイヌ施策振興法の時代、アイヌの人々の先住民族としての権利をどう考えるか、永年取り組んできた弁護士の視点から解説する。	9月10日	29名	講師：市川守弘氏（市川法律事務所弁護士）
		26	博物館実習生発表会	博物館実習生に自らの研究内容などについて発表してもらう。	9月18日	9名	講師：博物館実習生
		27	地球上で最も重要なイネ科植物を知ろう	食料や各種資源植物として、人類に非常に身近なイネ科植物は、分類形質が細かく、一般に名前の調べ方がわかりづらい植物とされている。最近の日本のイネ科植物の分類学的研究の動向を紹介する。	1月15日	31名	講師：佐藤広行氏（九州大学総合研究博物館研究員）
		28	卒業論文大発表会「浦幌のヒグマこんなに調べました！2023」	ヒグマをテーマに卒業論文や修士論文に取り組む大学生・大学院生たちに、フィールドである浦幌で自らの研究成果を発表してもらう。	2月11日	54名	講師：大学生・大学院生・佐藤喜和氏（酪農学園大学教授）
		29	浦幌町指定有形文化財厚内神社絵馬について	2021年12月に浦幌町の有形文化財に指定された厚内神社絵馬について、文化財保護法制度のしくみ、厚内神社の歴史とからめて解説する。	2月18日	14名	厚内公民館・社会教育係共催
		30	縄文世界遺産と浦幌の縄文	世界遺産となった北東北の縄文世界遺産や浦幌町内から確認されている縄文時代の遺跡・遺物などについて、特徴や意義を解説する。	3月18日	17名	講師：村本周三氏（北海道教育委員会）
	町民座談会	31	和歌山先生を語ろう	企画展関連講座として、厚内を拠点に自然史研究を続けてきた和歌山満氏の思い出を語り合う。	12月11日	9名	
		32	お正月の文化を語ろう	いとむかしのお正月文化の違いなどについて自由に語り合う。	1月	4名	
	夏休み子ども博物館	33		学童保育所出前授業を実施		-	協力：浦幌学童保育所
	冬休み子ども博物館	34		学童保育所出前授業を実施		-	協力：浦幌学童保育所
	移動講座	35	<月例調査観察会> 豊北植物調査会	毎月1回豊北原生花園を歩き、植物のフェノロジー（生物季節観測）を調査・記録する。	5月～11月 毎月1回	41名	
		36	<移動博物館> 知っとこ！うらほろ	浦幌町の姿を知るための史跡や自然めぐり。	4月2日	3名	講師：持田誠学芸員
		37	<移動博物館> ウラボロイチゲ観察会	日本では浦幌で最初に発見された植物ウラボロイチゲの自生地を巡って観察する講座	4月28日	11名	講師：坂下禮子氏
		38	<移動博物館> ウラボロイチゲを守ろう	道路工事の影響で失われるウラボロイチゲを隣接地へ移植して保全する。	5月4日	25名	講師：坂下禮子氏
		39	<移動博物館> 青い鳥を探そう	夏鳥オオルリの美しい姿を、木々の葉が茂って観察しづらくなる前の初夏に観察する	5月8日	22名	講師：春日基江氏
		40	<移動博物館> 知っとこ！うらほろ	浦幌町の姿を知るための史跡や自然めぐり。	6月4日	8名	
		41	第6回北海道フラワーズ2022	5年にいちど、全道一斉に野生植物の開花状況を調べる。	6月18日～ 19日	23名	北海道新聞野生生物基金主催
		42	<移動博物館> JRヘルシーウォーキングをあそぶ	今年から設定されたフットパスコース「JRヘルシーウォーキング」をみんなで歩く。	7月16日	中止 (天候状態)	
		43	<移動博物館> ウチダザリガニバスターズ	特定外来生物に指定されているウチダザリガニを捕獲し、生態系を保全する重要性を学ぶ。	7月31日	中止 (天候状態)	浦幌の自然を楽しむ会共催
		44	<ふるさと探訪> イチャルパ	浦幌へ還り再埋葬されたアイヌ民族の遺骨を慰霊する「イチャルパ」を見学する。	8月21日	未計数	ラポロアイヌネイション主催
		45	<ふるさと探訪> アシリチェブノミ	サケ漁をはじめるにあたって神に祈りをささげるアイヌ民族の儀礼「アシリチェブノミ」を見学する。	9月11日	未計数	ラポロアイヌネイション主催
		46	<移動博物館> オオアワダチソウをどどん抜くぞ！	豊北原生花園内に増加してきている侵略性の高い外来植物オオアワダチソウを抜き取り駆除する活動。	9月17日	中止 (天候状態)	
		47	<ふるさと探訪> 列車で学ぶ地理・歴史	列車を活用した鉄道遺産と地理歴史巡検	10月22日	18名	
		48	<移動博物館> 秋の渡り鳥観察会	マガンやオオヒシクイ、ハクガンやシジュウカラガンなど、この時期にみられる渡り鳥を探して観察する。	11月3日	10名	講師：春日基江氏
	49	<移動博物館> 春の渡り鳥観察会	マガンやオオヒシクイ、ハクガンやシジュウカラガンなど、この時期にみられる渡り鳥を探して観察する。	3月19日	3名	講師：春日基江氏	
	ロビーコンサート	50	クリスマスの讃美歌をうたってみよう！	日本ではなじみの薄い讃美歌を歌う。	12月18日	9名	
	ラポロアイヌネイション共催	51	「初心者アイヌ文様刺繍講座」	アイヌ文様刺繍について、その独特の技法を伝承者から学ぶ連続講座	不定期	-	講師：廣川和子 ラポロアイヌネイション共催

X. 学芸員の執筆活動・依頼講演・社会活動等

1. 共同研究等

- ・浦幌町内における特定外来生物ウチダザリガニの実態に関する調査（浦幌の自然を楽しむ会）
- ・釧路国境地域の植物相に関する研究（釧路市立博物館）
- ・環境省モニタリングサイト1000水生植物調査（環境省、国際湿地保全連合、釧路市立博物館、新潟大学ほか）
- ・別海町の湿原植物相調査（釧路市立博物館、別海町教育委員会ほか）

2. 論文・記事

- ・大津・十勝川学会編集，十勝川物語-歴史・文化・人-，サッポロ堂書店発行（2022年），うち3節を担当執筆。
- ・持田誠，2022，コロナ関係資料の収集と博物館の役割，全科協ニュース，52（6）：8-9。
- ・持田誠，2022，浦幌町指定文化財厚内神社絵馬，文化情報，（391）：1。

3. 口頭発表・ポスター発表

- ・博物館法改正をめぐる国会審議における焦点の整理，第60回北海道博物館大会 2022年7月14日 北海道博物館協会
- ・浦幌町厚内の博物学者「和歌山満」について，北海道自然史研究会2022年度研究大会 2023年2月19日 北海道大学総合博物館

4. 依頼講演等

- ・「ラポロアイヌネーションのこれまでとこれから」2022年5月21日、北海道立北方民族博物館（網走市）。
 - ・「アイヌ文化を支える植物 -北海道の草木はいまどうなっているか?-」2022年8月9日、アイヌ文化普及啓発セミナー（アイヌ民族文化財団主催）、（札幌市）。
- ※なお、同名の講座を8月24日に東京都内で開催予定だったが、学芸員が新型コロナウイルスに感染したため中止となった。
- ・「東十勝の植物多様性」2022年12月15日、市民マイスター講座，市民活動プラザ六中（帯広市）。
 - ・「浦幌川流域の地理的特徴」2023年1月25日、十勝うらほろ楽舎研修会，浦幌町立博物館。
 - ・「上美生を走った砂糖鉄道の話-」2023年2月2日、芽室町図書館講座（芽室町）。
 - ・「十勝の観光文化検定特別セミナー」2023年2月5日、帯広商工会議所（帯広市）。
 - ・「外来植物に関する問題」2023年2月9日、オンネトー地区道路環境保全会議（足寄町役場）。
 - ・「自然からみた十勝川物語」2023年2月25日、大津十勝川学会研究会，十勝プラザ（帯広市）。